

シンポジウム「帝国日本研究の方法と課題」

2011年12月17～18日

第1日 2011年12月17日（土）

会場：北海道大学文系6番教室（軍艦講堂1階）

14:00～14:15 開会

主催者挨拶 今西一（小樽商科大学）

14:15～15:45 報告1

石原俊（明治学院大学）

「小笠原諸島・硫黄島（火山列島）と帝国日本：移動民・入植民から難民へ」（仮題）

コメンテーター 佐藤由紀（早稲田大学）

司会 天野尚樹（北海道情報大学）

15:45～16:00 休憩

16:00～17:30 報告2

塩出浩之（琉球大学）

「ヒトの移動とコロニアリズム：帝国日本を中心に」（仮題）

コメンテーター 広瀬玲子（北海道情報大学）

司会 白木沢旭児（北海道大学）

18:00～ 懇親会

第2日 2011年12月18日（日）

会場：小樽商科大学札幌サテライト教室（紀伊国屋書店ビル3階）

10:00～11:30 報告3

與那覇潤（愛知県立大学）

「荒れ野の六十年（1894-1953）：東アジアの『長い近代』と帝国日本」（仮題）

コメンテーター 三木聡（北海道大学）

司会 三木理史（奈良大学）

11:30～12:30 総括討論

司会 今西一（小樽商科大学）

12:30～13:30 昼食

13:30～15:00 原暉之編『日露戦争とサハリン島』書評会

主催：科研「19～20世紀北東アジアのなかのサハリン・樺太」

共催：北海道大学 GCOE「境界研究の拠点形成」

後援：サハリン・樺太史研究会、科研「国境の植民地サハリン（樺太）島の近代史：戦争・国家・地域」